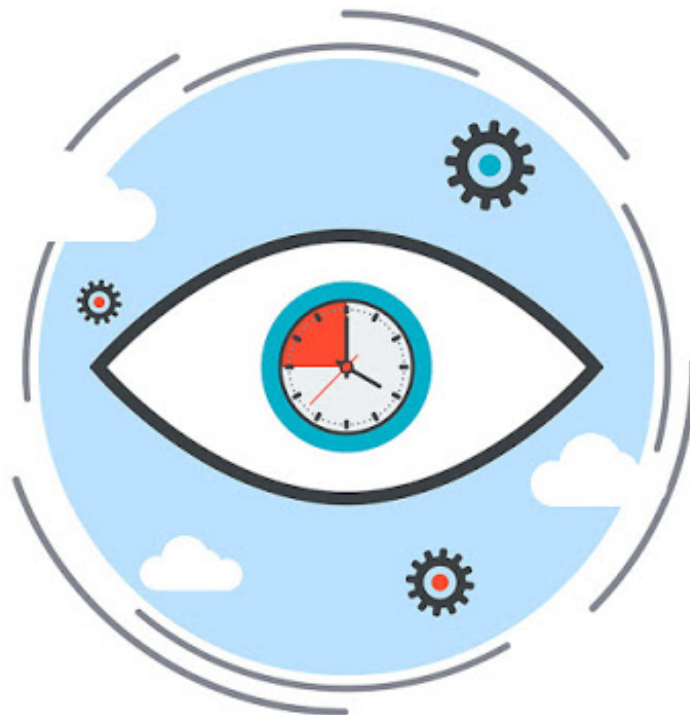


キャパシティ・プランニング(Capacity Planning)

IT インフラストラクチャへの効果的投資は、ユーザー収益に対して非常に重要な要因です。近年、マーケットやユーザーのニーズはリアルタイムに大きな変動が発生し、全てのユーザーレベルへのサービス提供を維持することはますます困難になってきています。サービス・レベル維持の問題を回避するために、ハードウェアやネットワークのキャパシティを追加することで問題解決を試みることは、ビジネスゴールを達成するための本質的かつ効率的な方法とはいえません。

Sightline Foresight は、手動で行っているキャパシティ・プランニング・プロセスを完全に自動化されたキャパシティ予測にリプレイスすることが可能です。Sightline Foresight は、定義スケジュールに基づいて複数システムに関しての自動化されたキャパシティ予測を提供し、通常その発見と対処に数か月を費やすような、メモリ、ディスク、CPU などの重要なリソースが不足するキャパシティ問題に関して、問題個所を特定したハイライトしたキャパシティ・レポート作成を行い、キャパシティ・マネジメントを行うために必要な早期警告を IT システム管理者に提供します。

Sightline の高度な Foresight ソリューションは、IT プロフェッショナルが一貫したサービスレベル維持と最適 ROI を確保するための、IT インフラストラクチャに関するキャパシティ・マネジメントを最適化することを可能にします。



キャパシティ・レポート(Capacity Problem Report)

キャパシティ・レポート機能は、スケジュール設定された日時にキャパシティが不足すると予想されるシステムに関する実用的な情報を提供します。レポートは、コネクション・ビュー・テクノロジーを用いて必要なデータのみをフィルタリングすることや、ドリルダウン、ロールアップビュー、サブビュー機能と組み合わせることで、エグゼクティブからシステム担当者までの全ユーザーに対して効果的に利用することが可能です。

ユーザーは、対象システムへドリルダウンすることにより、システムの完全な予測を見たり、しきい値違反が予測された特定のメトリクスのグラフを表示することが可能です。

予測レポート(Forecast Report)

Forsight は、オペレーティングシステムに対して、CPU、ディスク、メモリ、ネットワークに関するキャパシテ分析を行うためのテンプレートを提供しています。予測テンプレートには、収集している任意のデータソースからカスタムメトリクスを追加することによりユーザーが独自のカスタマイズをすることが可能です。デフォルトの予測レポートには過去データ、予測データおよびキャパシティに関するしきい値が含まれます。

キャパシティ予測機能は、予測期間、予測更新頻度、予測データ・ソース、レポート・テンプレート、およびアラート・グループ定義のキャパシティに関するしきい値などの設定情報により定義されます。定義後、キャパシティ予測は、スケジュールに基づき自動的に実行され、結果は EDM で表示することが可能です。



日本サイトラインシステムズ株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-13

Tsao Hibiya 7F

<http://www.Sightlinesystems.co.jp/>

<http://blog.Sightlinesystems.co.jp/>

<http://www.facebook.com/SightlineSystemsJapan/>

<https://twitter.com/Sightlinejapan/>

<http://www.youtube.com/user/SightlineSystemsJP/>

Copyright ©2012-2019 Sightline Systems Japan K.K. & Sightline Systems Corp. All rights reserved.